

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	SOU NEXT牧港		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 18日		～ 令和8年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33名	(回答者数) 17名
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 18日		～ 令和8年 2月 18日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 2日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	構造化された環境と少人数支援	<ul style="list-style-type: none"> 時間を区切り部屋を分けるなど、空間を有効活用している。 低学年・高学年のグループ分けや視覚提示により、わかりやすい環境づくりをしている。 痾癩時には個別空間を確保するなど、状況に応じた対応をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 壁面等の環境整備を進め、より安全で快適な空間づくりをしていく。 バリアフリー面の課題を整理し、できる範囲で改善を進めていく。 構造化の工夫を職員間で共有し、統一した支援をしていく。
2	チーム支援と計画共有体制	<ul style="list-style-type: none"> 支援計画は全プランナーの意見を取り入れて作成している。 昼礼・終礼で情報共有を行い、チームで振り返りを行っている。 計画は掲示や整理保管を行い、職員がすぐ確認できるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 入退職や異動がある中でも、計画周知をより頻回に行っていく。 話し合いの時間を確保し、支援の質向上につなげていく。 共通アセスメント様式の検討を進めていく。
3	情報発信と保護者連携	<ul style="list-style-type: none"> InstagramやGoogleマップで活動を発信している。 送迎時やLINE・HUGを活用し、情報共有をしている。 家族支援や面談の機会を設け、保護者と連携している。 	<ul style="list-style-type: none"> 送迎時は要点を簡潔に伝え、詳細はICTツールを活用していく。 ルール変更時は書面等で事前周知を徹底していく。 保護者会や家族支援プログラムの充実を図っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	人員配置と業務負担	<ul style="list-style-type: none"> 送迎や個別対応が重なると職員配置に不足感が出やすい状況がある。 急な対応により、他児童への目配りが薄くなる場面がある。 	<ul style="list-style-type: none"> HUGを活用し配置基準を確認しながらシフト作成をしていく。 業務分担の見直しを行い、フォロー体制を強化していく。 安全面を最優先にした人員配置を意識していく。
2	説明不足・共感的対応への課題	<ul style="list-style-type: none"> 担当者変更や業務多忙により、説明が不十分になることがある。 送迎時に助言が先行し、共感が十分でない場合がある。 	<ul style="list-style-type: none"> まず傾聴と共感を大切にする姿勢を徹底していく。 説明内容を整理した資料やマニュアルを整備していく。 変更点は全保護者へ事前周知する体制を整えていく。
3	地域連携・家族支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> 地域交流や外部評価の機会が十分とはいえない状況がある。 Lab内でのペアレントトレーニングは未実施である。 	<ul style="list-style-type: none"> 外部評価の導入に向け準備を進めていく。 地域機関との連携機会を増やしていく。 Lab内での家族支援プログラム実施に向け体制を整えていく。